

平成15年度の
主な行事予定

* 下記の内容は変更になる場合もございますので、直接お問い合わせいただくか、センターホームページやポスター・チラシでご確認下さい。

行事名	概要	開催日	会場	対象者	参加費
発掘調査の現地説明会	当センターが平成15年度に実施する発掘調査の成果を現地において一般公開します。	未定 (決まり次第お知らせします)	各遺跡発掘調査現場 (最寄り駅からの送迎あり)	一般	無料
千葉県遺跡調査研究発表会	県内の埋蔵文化財発掘調査の、最新の成果を発表し、これを展示して紹介します。	H16.1.19(日)	千葉市文化センター	一般	無料
「土器 ^{ドキ} ッと古代“宅配便”」 一見て・さわって 歴史体験	発掘調査で出土した実物の土器や石器を、セットで貸し出し活用していただく企画です。ご希望の施設まで宅配いたします。体験学習などの出張授業にも伺います。	貸出し随時	学校・公民館等	県内の学校 及び社会教育施設等	無料
体験シリーズ ー古代モノづくり工房ー 大昔の石器を作ろう！	大昔の石器（ナイフ・ヤジリ）を作って、魚をおろしたり、弓矢を射たり、親子で1日のコースです。	H16.1.17(土)	八千代市立郷土博物館	小学5年生以上と保護者	材料費 300円
火起こしを科学する	古代の「火起こし具」を自分たちで製作します。また、火が起こる過程を機器で観察したり、発火のメカニズムを科学的に検証します。親子で2日のコースです。	H16.2.11(水) H16.2.22(日)	千葉県立現代産業科学館	小学5年生以上と保護者	材料費 200円
勾玉を作ろう	古代の装飾品「勾玉」を、古代より少し製作しやすい石で作ります。古代の首飾りの出来上がり！身近な遺跡の話を聞いたりしながら、半日のコースです。	H15.8.8(金) H15.11.8(土)	千葉県文化財センター中央調査事務所 文化財センター本部	小学4年生以上	材料費 100円
管玉を作ろう	勾玉づくりを体験した人を対象に「管玉づくり」に挑戦します。	H15.8.22(金)	千葉県文化財センター中央調査事務所	小学4年生以上	材料費 200円
平成15年度 出土遺物巡回展 ～房総発掘ものがたり～	センターと県内地区文化財センターが調査した遺跡の中で注目される遺跡を選び、旧石器時代～古代の出土品を県内9カ所の博物館等で公開します。それぞれの開催館では解説会や講演会など各種イベントを予定しております。詳しくは各施設にお問い合わせ下さい。	H15.6.14(土)～H15.7.13(日) H15.7.19(土)～H15.8.10(日) H15.8.16(土)～H15.9.15(月) H15.9.20(土)～H15.10.13(月) H15.10.17(金)～H15.11.3(月) H15.11.8(土)～H15.12.7(日) H16.1.22(木)～H16.2.20(金) H16.1.22(木)～H16.2.20(金) H16.2.24(火)～H16.3.10(水)	浦安市郷土博物館 県立上総博物館 県立大利根博物館 県立安房博物館 さわかちは県民プラザ 県立関宿城博物館 八千代市立郷土博物館 県立房総風土記の丘 県立中央博物館	一般	無料



文化財センター展示室



出土遺物巡回展解説会



体験シリーズ「大昔の石器を作ろう」



千葉県遺跡調査研究発表会

その他・一般公開

公開事業	公開の概要	公開日・時間	費用	対象	参加費
文化財センター展示室	センター保管資料の一部を展示し、一般公開しています。	土・日・祝日年末年始を除く平日 (9:30～16:30)	無料	一般	無料
図書室の利用	県内をはじめとして、全国の埋蔵文化財発掘調査報告書約3万冊、考古学関係の本・図録・雑誌・研究紀要等約3万5千冊が閲覧できます。	土・日・祝日年末年始を除く平日 (9:00～17:00)	無料	一般	無料

表紙の説明

草刈遺跡G区
056号住居跡
(市原市ちはら台西4丁目)

この写真は、古墳時代後期（今から1,500年前）の台所の一角の様子です。住居は6m四方ほどの標準的な大きさで、その北西壁に炊事の中心になるカマドが造り付けられています。カマドの脇から、黒く煤けた調理用の土器（甕・甔）赤く彩られた盛り付け用の土器（椀・杯・高杯）などがまとまって出土しました。当時の台所に並べられていたものでしょうか？



房総の

文化財

VOL. 30



平成15年3月25日 財団法人 千葉県文化財センター
〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡809-2
TEL 043-422-8811(代) FAX 043-422-8850
<http://www.chibaken-bunkazai-center.or.jp>

CONTENTS

- 発掘調査速報 房総半島発掘最南端！
- 遺物紹介コーナー 古代の彩り
- 遺跡今昔物語 養老川と共に歩んだ上総の人たち
- 平成15年度の主な行事予定



房総半島 発掘最南端！ —館山市萱野遺跡—



萱野遺跡全景 細長く発掘しているところに道路ができます

萱野遺跡は館山市国分^{くにぶん}に所在し、館山平野の中央付近を南北に走る砂丘列上にある遺跡です。平成14年8月から、県道富津館山線の建設に先立ち発掘調査を実施しています。今年度当センターの実施する調査では最も南の遺跡です。

この遺跡周辺は、現在所在が不明となっている安房国府^{あきふくに}の推定地域にあたり、以前から土器などの遺物が多数散乱していることで有名な場所でした。今回の調査では残念ながら国府関連の遺構や遺物は見つかっていませんが、弥生時代～平安時代の竪穴住居跡や掘立柱建物跡などの集落跡が非常に高い密度で発見されています。遺跡の時代は、弥生時代～古墳時代前期にかけてが中心で、多量の土器のほか、大陸系の磨製石斧、ガラス玉や滑石製の勾玉、銅製の腕飾りや指輪といった装飾品など珍しいものも多く見つかり、当時の人々の生活がしのべれます。

館山平野ではこれまで祭祀遺跡（お祭りをした跡）や水田跡などは多く見つかり、当時の人々の生活の跡である集落遺跡についてはほとんど調査されていませんでした。特に弥生時代～古墳時代前期の竪穴住居は、館山市内では初めて見つかりました。今回の調査で当時の人々の生活を探るための貴重な資料が得られたと考えられます。



竪穴住居跡 今からおよそ1,500年前の住まいです

遺物紹介 コーナー

古代の彩り —胸もとを飾る魅力の首飾り—

古代（弥生時代から古墳時代頃）のネックレスには、緑の石と、青のガラスが好まれました。

君津市沖込古墳^{おきこめこふん}でも、緑色のジャスパー（碧玉）製管玉と、藍色のガラス製丸玉がたくさん出土しました。これらの中に珍しく、深紅の管玉が混ざっています。この宝石は、弥生時代から古墳時代に移るころに限っ

て愛用された「佐渡の赤玉」と呼ばれるジャスパーの一種で、新潟県からはるばる運ばれてきたと考えられています。

現在では、首飾りは主に女性の装飾品ですが、当時の首飾りは、男性も権力の象徴として装着していたと考えられます。いったいどんな人が身に付けていたのでしょうか？



佐渡の赤玉



日本の時代区分表

旧石器時代

縄文時代

弥生時代

古墳時代

平安時代

鎌倉時代

室町時代

江戸時代

明治時代

昭和時代

平成時代

(注)日本の旧石器時代の始まりについては、現在、再検討されています。よって、本紙では、新たな見解が発表されるまで、年代の記載を中止いたします。

約12,000年前 (この表は、100年を5mmで表現してあります。したがって、縄文時代は約50cmにもなります。)

約2,300年前

約1,700年前

飛鳥時代

西暦 794

奈良時代

1,192

1,333

1,573

1,603

1,868

安土・桃山時代

大正

養老川と共に歩んだ 上総の人たち

—市原市番后台遺跡—



番后台遺跡は、三方を養老川に囲まれた標高50m前後の台地上にあります。台地の縁は川に削られ、切り立った崖になっています。したがって、養老川からこの台地に水を汲み上げるために、明治10年代から昭和時代にかけて藤原式揚水車^{ふじわらしきやうすいしゃ}が使われていました。

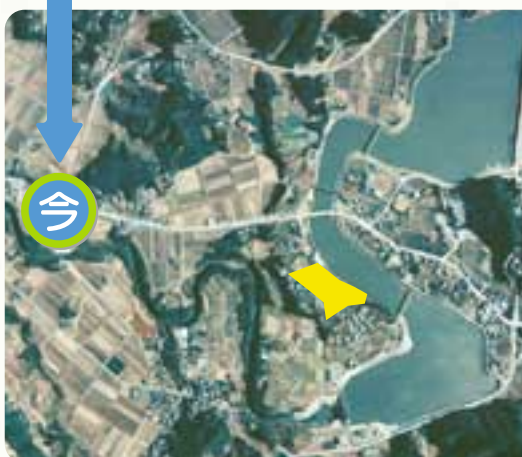
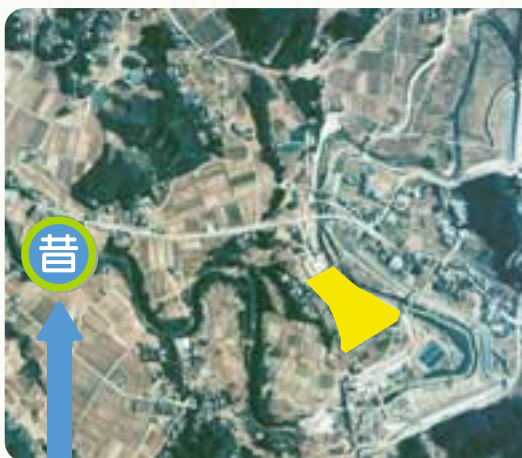
昭和54年4月、養老川総合開発高滝ダム建設工事に伴い、ダムの湖底に沈む集落の移転先として宅地造成をするため、それに先立ち発掘調査が行われました。調査の結果、縄文時代から古墳時代の竪穴住居跡が130軒見つかりました。特に、古墳時代前半の竪穴住居跡が6割を占めています。この遺跡は、養老川沿いにおいて、当時としては最も奥まった場所に作られた集落と言えましょう。また、東海地方の土器や近畿地方の影響を受けた土器なども発見され、当時の先進地域と交流していたようです。

昭和57年にも、高滝取水場^{たかたきしずみじょう}を建設するため発掘調査が行われました。この時は、弥生時代の竪穴住居跡が1軒発見されています。

現在、番后台遺跡は一部残っていますが、その周辺はダムによって人造湖ができ、たくさんの水をたたえています。



現在の番后台遺跡周辺



(写真提供：高滝ダム管理事務所)